

兵庫県版

# 日本の息吹

兵 庫 版  
 第二二八号 令和四年 (皇紀二六八二年)  
 三月二十五日発行 日本会議兵庫県本部事務局  
 六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一  
 兵庫県神社庁内 (〇七八・三四一・一一四五)  
 HP <https://www.nipponkaigihyogo.org/>  
 メール [nipponkaigihyogo@gmail.com](mailto:nipponkaigihyogo@gmail.com)



二月一日は、「建国記念を祝う会」が全国各地で催されました。私達の兵庫県でも神戸会場と姫路会場の二カ所にて、コロナ禍であっても地域に支えられながら実施されました。

## 【神戸会場】

### 《建国記念の日を祝う会》

#### in 神戸

令和四年二月一日(金)一三時より、「建国記念を祝う会兵庫実行委員会」主催で、『建国記念の日を祝う会 in 神戸』が兵庫けんみんホールにて実施された。司会は荻野恵美子氏(フリーアナウンサー等)、会は三部構成にて、第一部は約三分のミニコンサート、第二部は式典、第三部は記念講演会となりました。

## 第一部 ミニコンサート

合唱総合エンターテインメントグループ「よりどりみどり」によるミニコンサートが、唱歌等を披露。中でも、神話合唱曲『はじまりのうた』中今を生きる』は文字通り神話をモチーフにした合唱曲で、兵庫県神社庁教化委員会と共同で製作されました。また、このグループは、作曲家・ピアニスト横山智昭氏主宰のもと、平成三〇年に結成され、演劇や



## 第二部 式典

アニメーション映像作品とコラボした公演を実施しており、今回はコロナ禍での制限にて五名に規模を縮小しての公演となりました。

垣田宗彦兵庫県神社庁長(湊川神社宮司)による開式の辞に続き、国歌斉唱、檀原神宮遙拝、皇居遙拝、

### 《 3月25日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 3月27日(日)13時～ 憲法街頭活動 神戸大丸前 07055082577
- 4月22日(金)19時～ 日本会議兵庫神戸セミナー『湊川神社の御創建について』西原秀樹氏(湊川神社権宮司) あすてっぶ神戸
- 4月29日(祝)7時～ 神戸護國神社清掃奉仕活動 おむすびとお茶 07055082577 《5月15日(日)沖繩復帰五十周年》
- 5月3日(火・祝)10時半～11時半 憲法街頭活動 神戸大丸前 13時45分～『憲法フォーラム in 神戸』県学校厚生会館
- 6月4日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-今なお続く国難』金井利孝氏(幹事)
- 7月9日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-文永の役・弘安の役』堀隆一氏(幹事)
- 《 7月10日(日)前後 参議院選挙投票 》
- 7月18日(月・祝)午後 日本会議兵庫県本部総会 記念講演 織田 邦男 元空将 会場 三田市内 (予定)
- 8月6日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-黒船来航』泉 和慶氏(副支部長)
- 8月11日(木・祝)7時～神戸護國神社清掃奉仕活動および8時45分～『英霊感謝の集ひ』《8月15日 終戦記念日祭》
- 8月27日(土)午後 中・西播磨支部総会・記念講演会 姫路護國神社
- 9月10日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-日中戦争』三木英一氏(支部長)
- 10月15日(土)14時～中・西播磨支部学習会 姫路護國神社『国難を乗り越えてきた先人に学ぶ-大東亜戦争』土肥清明氏(次長)

榎原眞都の詔を朗誦の後、本名孝至本大会実行委員長(伊弉諾神宮宮司)による主催者代表挨拶、来賓挨拶、祝電披露、参加者全員による「紀元節の歌」、決議文採択等が行われました。

第三部 記念講演

伊勢雅臣先生から、『この国の希望のかたち』と題して、一時間三〇分ご講演頂きました。伊勢雅臣先生は、公益社団法人・国民文化研究会理事、筑波大学日本語・日本文化学



類非常勤講師、『国際派日本人養成講座』編集長。ご講演内容は、皇室の祈り、神武東征は史実か?、建国の祈りとその継承、皇位継承は祈りの継承、大御宝を鎮めるには、大御宝を育てるには、皇室の祈りをいかに実現するか、等でした。

【姫路会場】

令和四年二月十一日、兵庫県姫路護國神社において、建国記念の日を祝う「建国祭」が開催されました。

神武天皇橿原宮にご即位されてから、紀元は二六八二年。本来、日本の国の始まりの意義をしつかりと学び、そしてまた国民あげてお祝いするのが本意であると企画された講演会「建国(紀元節)のいわれ」や境内地での奉祝式典も、一月に入りコロナウイルス感染症の急激な拡大に鑑み、残念ながら中止となり、午前



十一時、神職による「神事」斎行のみとなりました。宮司による祝詞奏上のあと、宮司による玉串奉奠に続き神職に併せて参加者全員が二礼二拍手一礼により建国を祝いました。

続いて、護國神社総代会会長の三木英一氏が挨拶に立ち、急遽の予定変更にもかかわらず、参列された百余名の方々に対し「建国を祝う姫路実行委員会」の実行委員長を仰せつかっている立場から『奉祝式典は中

止となり極めて略式ではありますが、榎原神宮遥拝をし、二礼二拍手一礼をさせて頂き、お祝いしたい。』と呼びかけられました。

参加者の中には、小さなお子さん連れの家族もあるなど、老若男女が集う中、日本の国の安泰と、世界の平和、参加者の健勝を祈念し、そしてまた、ご皇室の弥栄を心から念じて、万歳三唱(天皇陛下万歳)も行われ、さながらミニ奉祝式典の様相でありました。

最後に『日本国民が自分の国を愛し自分の国は自分で守るんだという気合いをしつかりと持つことが大事であり、そのためにも、是非とも、戦後GHQから押し付けられた現在の憲法を改正して、今日の、日本の情勢に合うような憲法に一日も早く改正して参りましょう。』と訴えられ、実行委員会を代表しての挨拶となりました。

姫路会場は、コロナ禍の前は、例年、奉仕団体による熱いうどんやケーキ付きの喫茶コーナーなどの模擬店が設けられ、楽しい一日を過ごして参りました。来年こそは、そのような一日であることを祈念致します。